



かたらし

アーチ 通信 第 12 号

平成 31 年 4 月発行

「かたらし」は三島の方言で
「なかまにいて」という意味です。



三島市障がいと暮らしを支える協議会は、市内関係団体・当事者・事業者の顔の見える
“つながり” 作りを大切に、愛称：アーチのとおり、架け橋になることが目標です！！

いいものみつけた！！（皆さんのこえ）

★ 育成会の会員さんにきいてみました！ ★

～子どもが在籍した学校の感想 パート 2 ～

《良かったこと・特別支援学級編》

- ☆普通教室の生徒が支援学級に休み時間などに良く遊びに来てくれた。そのおかげで言葉の数が増え、たくさんおしゃべりをしてくれた。
- ☆地域の成人式に出席でき、同じ学校のお友達やお世話になった先生と再会し、声をかけてもらって本人も嬉しそうだった。
- ☆担任の先生が「できること」を普通学級の生徒にアピールしてくれた。
- ☆担任の先生とは合わなかったが、他の先生が声をかけてくれたり、サポートしてくれた。

《良かったこと・特別支援学校編》

- ☆近隣の学校との交流授業があった。
- ☆子供に合わせた支援を考えてくれ、手先を使う器具を考え作ってくれたり、作業をとおしてできることが増えた。
- ☆色々な体験をさせてもらえた。
- ☆高等部で実習ができるので、社会に出る前準備ができた。

《困ったこと・特別支援学級編》

- ☆先生が理解してくれず、大声でどなられたり、子どもが傷つくようなことを何度も言われた。
- ☆担任の先生が変わり、指導方針に子どもがついていけずに登校拒否になった。
- ☆休んでいいと言われた。

《困ったこと・特別支援学校編》

- ☆特別支援学校の先生と言っても、やはり先生によると思った。
- ☆係りなども考えて役目を付けてくれていたが、学年が上がり特別支援学級から入ってくる生徒が増えてくると、係りなどもさせてもらえなくなった。
- ☆学校までが遠く、親子ともに通学が負担だった。

みしま子育てを学ぶ会@ROOM



自閉症・発達障がい児の子育て勉強会＋相談会です。視覚支援、応用行動分析を勉強して10年になる大内優子さんが、「自分でやってみてよかったことを今、子育てで困っているお母さんや、お子さんの役にしたいと、3年前から始めました。」

スケジュールやコミュニケーションのグッズなど。子育てやくらしの具体的な工夫、支援の方法を同じ立場のメンバーと一緒に考えます。

参加しているお母さんたちは、「居場所があってよかった。」「参加者の悩みや話に共感でき、一人でないで安心できた。」「子どもに合わせたグッズを作り、使ったら子どもが変わった。」「グッズを使ってできることを、他の人にも知らせたい。」と話しています。参加してよかったと思うお母さまたちの口コミでも会員が増えていきます。



小学校、中学校に通うディスグラフィア（書字表出の障がい）のお子さんは、学校で理解していただき合理的配慮として授業でアイパットやポメラ（小型デジタルメモ）やPCを使い、テストもPCで受けています。他のお子さんたちも理解してくれています。知的障害があろうが、なかろうが、自閉症があるということは自閉症の手立てが必要です。そして 自閉症の方への支援は、障がいがあるなしにかかわらず、どんな人にも有効です。

《主な会の活動》

中郷文化プラザでの勉強会

月1回 不定期 三島市の広報に載せています。＊3月13日(水)

時間 9:00～12:00 会場 中郷文化プラザ会議室

参加費 無料 定員 10名 申込み必要

講演会の開催（不定期） おめめどう 奥平綾子氏 対象 保護者、支援者
上記以外にも勉強会を行っています。

＜問い合わせ・申込み＞ 大内優子さん 090-9661-5307

ショートメールで ご連絡ください。

サポーター紹介！

所 属：自立生活センターアシストミル
氏 名：岩本 肇
資 格：社会福祉士
その他：ピアカウンセラー
虐待防止ワークショップ
インストラクター



(昨年度実績：長野、沖縄の団体等に招かれ開催)

趣味：卓球（全国障害者スポーツ大会 県代表 2009 年新潟大会・2013 年東京大会）
：映画鑑賞（最近見た映画・ボヘミアンラプソディー・ぼけますから、よろしくお願いします・こんな夜更けにバナナかよ）
：猫と戯れる事（キキと言います）：パン屋さんめぐり
：仏像めぐり（菰山の願成就院には運慶作の仏像があります）



運営会議のほうこく！

日時：平成 31 年 2 月 28 日（木）15：00～17：00 場所：三島市役所西館 2 階会議室

プロジェクトチームの進捗状況について

- ①相談&サビ管の連携プロジェクト
 - ・次回研修会開催に向けた話し合いを進めています。
- ②人材育成プロジェクト
 - ・プロジェクト見学会に 3 名の参加申込みがありました。
 - ・講師リストを活用した研修を 3/5(火)にエシカファームで開催します。
 - ・「TABUNリスト」の周知のため、キャッチコピーを検討中です。
- ③三島再発見プロジェクト
 - ・「かたらして」第 11 号は、協議会で確認後、3 月 1 日の夕刻配信します。

振返りアンケートの集計から ～事業・運営体制等について～

- ①委員の構成について
 - ・現メンバーによる運営体制の継続と共に、新たな委員 3 名の増員を検討しています。
 - ・今後は段階的に委員の交代も検討していきます。
- ②会議開催日時について
 - ・会議室の空き状況を確認後、2019 年度から会議開催日時を変更します。
- ③事業について
 - ・振返りアンケートの集計結果をもとに、“会議”“プロジェクト”“組織”等を見直していくことになりました。



地域生活支援拠点事業

- ・前回までの議論に続き、5 つの機能について、すぐできること・時間のかかること、取り組みやすいこと・対応が難しいこと、または、三島単独でできること・広域でやること等の仕分けと整理を今後の運営会議で検討していくこととしました。



おしえて Q & A

三島市生活支援センターのご紹介

当センターでは、仕事や生活のことで困っている方、悩んでいる方、良い状況へ変わりたいと思っている方のステップアップや問題解決をお手伝いしています。お困りでない方も、当センターのことを是非知って頂き、お困りの方が周りにいらっしゃいましたら、ご紹介頂けると嬉しいです。

「例えばこんなご相談を受け付けています。」

- 急に失業してしまい困っている
- 働きたいのに就職できない
- 病気や親の介護で働きに出られず、生活費が無い
- 働いたことがなく、働くにはどうしたらいいのかわからない



- 働きづらさを抱えていて仕事が続かない
- 引きこもりの子どもの将来が心配
- 周囲に頼る人がいない



「ひとりで悩まないで！ 一緒に解決策を考えましょう。」

相談支援員が、相談者に寄り添い、一緒に問題解決の方策を考えます。その上で、必要に応じて関係する制度、サービス等を紹介したり、関係機関への相談に同行したりします。

また継続して生活支援センターの支援が必要な場合は、相談された方の意思を尊重しながら、相談支援員がお困りの問題の解決に向けてのプランを作成し、このプランに沿って問題解決のお手伝いをしていきます。

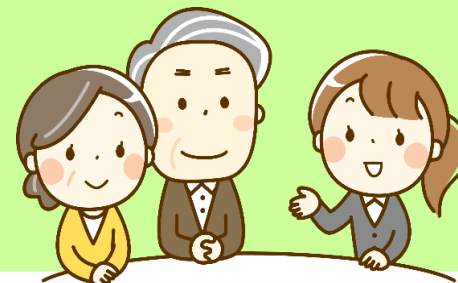
※相談は無料です。※勿論プライバシー、秘密も厳守します。

～センターが行っていること～

■自立相談支援 ■住居確保給付金の申請

■就労準備支援

①生活自立支援 ②社会自立支援 ③就労体験 ④就労自立支援



三島市東本町1丁目2番6号 英光ビル1・1階（伊豆箱根鉄道三島田町駅から徒歩すぐ） 月曜日～金曜日 8：30～17：30
TEL：055-973-3450 E-mail：seikatsushien-mishima@tokaido-sigma.jp 受託事業者：株式会社東海道シグマ

*より詳しい情報はホームページに掲載しましたのでご覧ください。
三島市障がいとくらしを支える協議会ホームページ http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

事務局連絡先：（福）見晴学園 相談支援事業所ふあいん 055-976-8386 sole-fine@shirt.ocn.ne.jp